

会 議 記 録 (要旨)

会議名称	令和元年度第3回杉並区 胃内視鏡検査による胃がん検診精度管理審議会	
日時	令和2年3月12日(木) 午後7時31分～午後8時59分	
場所	杉並保健所 地下1階 講堂	
出席者	委員名	入口会長、一瀬委員、中山委員、濱島委員、安部委員、八木委員
	事務局	杉並保健所長、健康推進課長、健診係長
会議次第	1 開会 2 会長あいさつ 3 議題 (1) 第2回杉並区胃内視鏡検査による胃がん検診精度管理審議会の論点整理について (2) 令和2年度胃がん検診(胃内視鏡検査)申込方法について(案) (3) プロセス指標のフィードバック方法について(案) (4) 胃がん検診精密検査依頼書兼結果報告書の改訂について(案) 4 報告 (1) 令和2年度杉並区胃がん検診(胃内視鏡検査)実施希望医療機関の状況について 5 その他	

会議要旨

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 議題

(1) 第2回杉並区胃内視鏡検査による胃がん検診精度管理審議会の論点整理について

- ① 機能水による内視鏡器具の消毒方法の取り扱いについて
機能水については、令和3年度からの導入の可否について、今後、具体的に検討する。
- ② 判定結果記入方法について
胃がんの所見と胃がん以外の所見とに分けて考え方を整理した。胃がんの所見で「異常所見を認めない」は「精密検査不要」となり、「異常所見を認め精密検査(再検査)が必要」は「要精密検査」となり、「胃がんの所見を認める」は、「要治療(病変あり)」となる。胃がん以外の所見で「異常所見を認めるが胃がん以外の疾患」は「精密検査不要」「要精密検査」「要治療(病変あり)」のいずれかが該当するものとする。
- ③ 偶発症の報告について
偶発症の報告書の様式については、一部修正した。修正点は、偶発症の種類、部位、偶発症発症時期等について、項目を例示し簡単に選択できるようにするものとする。
- ④ 受診者への結果説明の対面実施について
都指針で定めるがん検診の受診者には、検診結果を正確に伝え、精密検査受診勧奨も含め検診後の指導を確実にを行うために要精検者全例に対面による結果説明を行うこととする。

(2) 令和2年度胃がん検診(胃内視鏡検査)申込方法について

胃内視鏡検査は、検診実施機関のキャパシティー調査結果により、定員(申込制限)を設けることとし、区への申込制とする。

(3) プロセス指標のフィードバック方法について

検診実施機関へのプロセス指標のフィードバックについては、以下のとおりとする。

- ・プロセス指標は、杉並区全体、当該検診実施機関、全ての検診実施機関の順に並べて表記するものとする。
 - ・杉並区全体及び当該検診実施機関のプロセス指標の並び順は、
①受診者数②要精検者数③要精検率④精検受診者数⑤精検受診率⑥生検受診者数⑦生検受診率⑧読影不能数⑨読影不能率⑩精検未把握者数⑪精検未把握率⑫精検未受診者数⑬精検未受診率⑭がん発見数⑮陽性反応適中度⑯がん発見率とし、検診実施機関の精度管理に重要である③～⑨までを太枠で囲うこととする。⑩以降は参考値として残すものとする。
 - ・全ての検診実施機関のプロセス指標の並び順は、上記の①から⑬までとする。
- (4) 胃がん検診精密検査依頼書兼結果報告書の改訂について
令和3年度から新様式に変更することはおおむね了承するが、新様式の内容が簡略化されたことにより、精密検査を依頼する時は、新様式の内容を補完するものが必要となる。

4 報告

- (1) 令和2年度杉並区胃がん検診（胃内視鏡検査）実施希望医療機関の状況について
令和2年度杉並区胃がん検診（胃内視鏡検査）実施希望医療機関は、21医療機関あり、実施に向けて取り組んでいる内視鏡の画像評価については、70%程度終了している。残りの画像評価は随時実施する予定である。

5 その他

特になし。